

帯広市 令和7年度アイヌ政策推進交付金事業計画

1	事業名	帯広市アイヌ施策推進事業									
2	事業の種別	文化振興事業、 地域・産業振興事業 、 コミュニティ活動支援事業									
3	事業の目的	アイヌ文化の観光コンテンツとしての魅力向上により、アイヌ文化の継承を確かなものとするとともに、様々な体験教室やイベントでの情報発信による理解促進の取り組みを継続的に行うことで、アイヌの人たちの誇りが尊重される社会の実現を目指します。									
4	事業の概要	（１）地域・産業振興事業 ア アイヌ文化観光コンテンツ化事業 ○事業実施主体 帯広市 ○事業の実施場所 ・古式舞踊（ターゲット①～③により実施場所を変更） <table><tr><td>ターゲット</td><td>実施場所</td></tr><tr><td>①地域住民、市内宿泊者</td><td>六花亭、市内・近郊イベント会場、学校、生活館</td></tr><tr><td>②高付加価値層、知的好奇心層、ＡＴ層</td><td>旧双葉幼稚園、インバウンド・ＡＴ層が宿泊する宿泊施設、ポロシリキャンプ場</td></tr><tr><td>③教育旅行、修学旅行</td><td>生活館、百年記念館、緑ヶ丘公園、野草園、宿泊施設</td></tr></table> ※ＡＴ層とは、通常の観光とは異なり、体験を通じて自信を成長させることを目的とする旅行（アドベンチャートラベル（ＡＴ））を楽しむ人々という意味。現地の人々との交流を通じて深い文化理解を求め、参加型アクティビティや学びの旅を重視する人をターゲットにしている。 ○事業の実施期間 令和７年４月～令和８年３月 ○事業の内容と考え方 〈事業の考え方〉 今も残るアイヌ民族への差別偏見を刷新し、アイヌ民族自らがアイデンティティを深めたプログラムやメッセージを発信することで、本質を理解できるターゲット層を惹きつけられると考えている。 〈事業内容〉 ・アイヌ古式舞踊の披露 ① 地域住民や市内宿泊者向けにアイヌ古式舞踊を定期的に披露し、アイヌ文化の認知向上を図りつつ、帯広市の新たなナイトタイムエコノミー創出に取り組む。 ※ナイトタイムエコノミーとは、夜間の経済活動（飲食店・エンターテインメント・観光等）が含まれ、都市活性化や雇用創出を目的としている。		ターゲット	実施場所	①地域住民、市内宿泊者	六花亭、市内・近郊イベント会場、学校、生活館	②高付加価値層、知的好奇心層、ＡＴ層	旧双葉幼稚園、インバウンド・ＡＴ層が宿泊する宿泊施設、ポロシリキャンプ場	③教育旅行、修学旅行	生活館、百年記念館、緑ヶ丘公園、野草園、宿泊施設
ターゲット	実施場所										
①地域住民、市内宿泊者	六花亭、市内・近郊イベント会場、学校、生活館										
②高付加価値層、知的好奇心層、ＡＴ層	旧双葉幼稚園、インバウンド・ＡＴ層が宿泊する宿泊施設、ポロシリキャンプ場										
③教育旅行、修学旅行	生活館、百年記念館、緑ヶ丘公園、野草園、宿泊施設										

	②国指定重要文化財の旧双葉幼稚園等で高付加価値旅行者（A T層、インバウンド）に対応した公演を行い、アドベンチャートラベルを見据えた質の高いプログラムの造成に取り組む。 ③地域の事業者と連携して、教育旅行向けのプログラムの造成に取り組む。 ・講演会等による文化発信 活動の担い手育成・確保、知識の普及啓発や活動のP R、アイヌ民族との交流の機会創出を目的に、講演会を実施。 ・観光コンテンツの開発による演舞の魅力向上 プログラムをブラッシュアップするにあたり、関係者ヒアリング、需要調査、モニター検証などを通し、演舞の魅力向上を図る。 ・アイヌガイド、体験指導者育成 専門家によるアイヌ文化講習、アイヌガイドの育成を行い、近年需要が高まっているアイヌ自身がアイヌ文化観光ガイドとなり、自身の特性を活かした体験指導を行える環境を作り高付加価値化を目指す。 （２）コミュニティ活動支援事業 ア アイヌコミュニティ活性化事業 ○実施主体 帯広市 ○事業の実施場所 帯広市生活館、帯広市内 ○事業の実施期間 令和７年４月～令和８年３月 ○事業の内容と考え方 帯広市における、アイヌ民族の伝統儀式や舞踊等のほか、その他生活の知恵、知見、過去の経験については、帯広アイヌ協会をはじめとして、帯広カムイトウウポポ保存会や、その他個人間において継承されている。 時代の移り変わりにより、核家族化や転出等によって、これら知見等の継承機会が次第に失われていく中、帯広アイヌ協会の会員数は減少しており、これらの活動の促進や支援が喫緊の課題となっている。 アイヌの古老であるエカシ・フチより、継承していくべき知見・事由、伝統文化や技術について聴き取りをし、まとめたものを若者や地域住民に共有することで、これらの継承やアイヌ文化への理解を促し、アイヌ組織の育成・活動・交流の促進や、アイヌの人たちの社会的・経済的な地位の向上及び地域福祉の推進を図る。
５ アイヌ施策	４－１ 観光の振興その他の産業の振興に資する事業

推進地域計画における記載	■リウカリーフレット作成事業 リウカ事業の広報や、外国人観光客対応のためのリーフレットを作成する。 ■アイヌ文化観光コンテンツ化事業 常設舞台での舞踊披露に向け、令和7年度は帯広アイヌ古式舞踊の担い手の確保等の体制づくり・国内外に向けてプロモーションを行うとともに、アイヌ文化ガイド等の育成を行い、各ターゲット（地域住民・高付加価値層やAT層・教育旅行）向けの公演を開催し、新たなナイトタイムエコノミー、アドベンチャーツーリズムを見据えた観光コンテンツとして質の向上を図っていく。 4－2 地域内若しくは地域間の交流又は国際交流の促進に資する事業 ■アイヌコミュニティ活性化事業 エカシ・フチから、知見や過去の経験等のほか伝統文化や技術について聴き取りを行い、アイヌの若者や地域住民に共有することで、これらの継承を促すほかアイヌ文化への理解促進を図り、ひいてアイヌ関連団体の育成・活動・交流の促進、アイヌの人たちの社会的・経済的な地位の向上及び地域住民との交流を図る。
6 事業の成果目標等	
（１）成果目標の達成に向けた工程	（１）地域・産業振興事業 ア リウカリーフレット作成事業 アイヌ文化の振興や普及啓発を行うアイヌ民族文化情報センター「リウカ」や「アイヌ文化とのふれあいゾーン」について、リーフレットを配布することで観光客に向けて周知を図り、アイヌ文化の理解促進に寄与する。 イ アイヌ文化観光コンテンツ化事業 アイヌ古式舞踊の専門家等を講師に招き、帯広カムイトウウポポ保存会とともに舞踊の魅力向上に向けた取り組みを進め、観光コンテンツ化を図ることで、アイヌの人たちの所得向上のほか、舞踊の観客数や観光入込客数の増加が見込まれる。 （２）コミュニティ活動支援事業 ア アイヌコミュニティ活性化事業 アイヌ文化、歴史の継承のため、エカシ・フチの聴取記録について、帯広アイヌ協会を通じ会員の閲覧に供する。
（２）成果目標、（中間）目標年度（成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成	（１）地域・産業振興事業 ア リウカリーフレット作成事業 リウカリーフレット消費枚数 （事業開始）令和8年度 500枚／年間 （中間目標）令和9年度 550枚／年間

見込みについて記載すること)	(最終目標) 令和 11 年度 650 枚／年間 成果目標の達成は、令和 11 年度に達成見込である。 イ アイヌ文化観光コンテンツ化事業 古式舞踊観客数(講演会観客数含む) (現状値) 令和 5 年度 500 人／年間 (中間目標) 令和 9 年度 800 人／年間 (最終目標) 令和 11 年度 1,170 人／年間 成果目標の達成は、令和 11 年度に達成見込である。 (2) コミュニティ活動支援事業 ア アイヌコミュニティ活性化事業 エカシ・フチ聴取記録の帯広アイヌ協会会員閲覧者数 (現状値) — (中間目標) 令和 9 年度 11 人／年間 (最終目標) 令和 11 年度 22 人／年間 成果目標の達成は、令和 11 年度に達成見込である。
(3) 成果目標の確認方法	KPI である、リウカリーフレット消費枚数、古式舞踊及び講演会の観客数、エカシ・フチ聴取記録の帯広アイヌ協会会員閲覧者数について、実績値を公表する。また、帯広市アイヌ施策連絡会議において、目標の達成状況等について検証する。
7 地域の概要	
(1) 地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題	帯広市には、「帯広アイヌ協会」をはじめ、アイヌ民族の古式舞踊の保存伝承活動を行う「帯広カムイトウウポポ保存会」、アイヌ子弟の私塾である「とかちエテケカンパの会」、十勝におけるアイヌ文化の保存伝承、発展を図る「特定非営利活動法人トカプチアイヌ協会」などアイヌ関連団体が存在する。又、アイヌ民族にかかわる施設として、アイヌの人々の活動拠点である「帯広市生活館(愛称:ふくろうの館)」やアイヌ民族の情報を収集・発信しているアイヌ民族情報センター「リウカ」がある。 帯広市は、アイヌの人たちに関する施策を総合的に推進するために、平成 7 年 12 月に全国の市町村に先駆けて「帯広市ウタリ総合福祉推進計画」(平成 8 年度～平成 16 年度)を策定し、平成 17 年 2 月には、計画の一部に修正を加え、計画期間を延長して「帯広市アイヌ施策推進計画」(平成 17 年度～平成 21 年度)と名称を変更し、アイヌの人たちの社会的、経済的地位の向上を図るための施策を総合的に進めてきたところである。令和 2 年 3 月には「第三期帯広市アイヌ施策推進計画」(令和 2 年度～令和 6 年度)を、令和 7 年 3 月には「第四期帯広市アイヌ施策推進計画」(令和 7 年度～令和 11 年度)を策定し、それまでの取り組みの方向を維持しつつ、アイヌ民族の理解促進、文化の振興などに取り組んできた。 アイヌ関連団体の活動や本市の施策の展開により、市民の関心は高まりつつあ

	るものの、アイヌ文化に関する理解は十分に浸透しているとは言えず、又、伝統や文化の保存伝承を進めてきたアイヌ関連団体の高齢化や活動等への関わりの希薄化が課題としてある。 このため、市民のアイヌ民族についての理解を深めるためのアイヌ文化に触れられる機会の拡大やアイヌの人々によるアイヌ文化の保存伝承活動を促進する取り組みなどが必要である。
(2) 施設等の管理運営体制	・帯広市生活館は帯広市が管理している。 ・帯広百年記念館（アイヌ民族文化情報センター「リウカ」）は帯広市が管理している。
(3) アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制	各種会議等を定期的に行い、帯広市アイヌ協会などのアイヌ関係団体と意見交換を行っている。

8 収支予算

(1) 収入の部

(単位：円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
国庫補助金	8,539,200	23,744,800	0	△ 15,205,600
都道府県負担額	0	0	0	0
市町村負担額	2,134,800	5,936,200	0	△ 3,801,400
民間団体負担額	0	0	0	0
計	10,674,000	29,681,000	0	△ 19,007,000

(2) 支出の部

(単位：円)

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
文化振興事業	0	2,031,000	0	△ 2,031,000
文化振興事業費	0	1,906,000	0	△ 1,906,000
委託料	0	1,906,000	0	△ 1,906,000
市町村事務費	0	125,000	0	△ 125,000
需用費	0	59,000	0	△ 59,000
借料	0	51,000	0	△ 51,000
役務費	0	15,000	0	△ 15,000
地域・産業振興事業	10,000,000	2,830,000	7,170,000	0
地域・産業振興事業費	10,000,000	2,830,000	7,170,000	0
委託料	10,000,000	2,830,000	7,170,000	0
コミュニティ活動支援事業	674,000	24,820,000	0	△ 24,146,000
コミュニティ活動支援事業費	674,000	24,820,000	0	△ 24,146,000
委託料	674,000	674,000	0	0
需用費	0	518,000	0	△ 518,000
備品購入費	0	0	0	0
工事請負費	0	23,628,000	0	△ 23,628,000
合 計	10,674,000	29,681,000	0	△ 19,007,000
委託料	10,674,000	5,410,000	5,264,000	0
需用費	0	577,000	0	△ 577,000
借料	0	51,000	0	△ 51,000
役務費	0	15,000	0	△ 15,000
備品購入費	0	0	0	0
工事請負費	0	23,628,000	0	△ 23,628,000